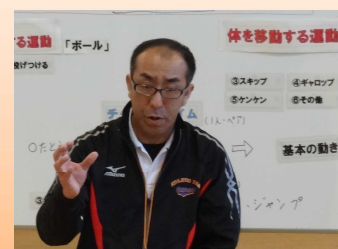
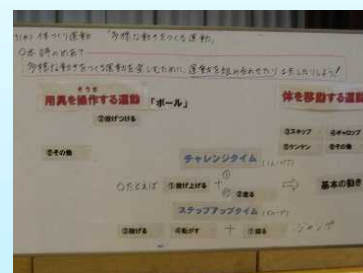


体育科 公開授業・授業研究会

授業者 伊勢崎市立北小学校 本川 貴晴 教諭
平成26年11月19日(水) 第4学年



第4学年の「多様な動きをつくる運動」において、基本的な動きをもとに、運動を組み合わせたり工夫したりする学習を公開しました！



県内各地からたくさんの参加者があり、授業を参観していただくとともに、熱のこもった授業研究会が行われました。

【単元】4年 体づくり運動『多様な動きをつくる運動』

【本時のねらい】

多様な動きをつくる運動を楽しむために、基本的な動きをもとに運動を組み合わせたり工夫したりする

【伸ばしたい資質・能力】

- ・ きまりを守りながら、友達と励まし合って運動をしようとしている
- ・ 多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、動きの組み合わせ方を考えたり工夫したりしている
- ・ 体を移動する運動や用具を操作する運動の基本的な動きを組み合わせた動きができる

【提案する手立て】

- ・ (手立て①) チャレンジタイム、ストップアップタイムによる学習の流れや学習形態
- ・ (手立て②) 児童の考えや気づきを引き出す発問

《指導プランp.50,p.102~104》



授業の様子

1. 準備運動、まねっこアスレチックラン



主運動に向けての心と体の準備、豊富な運動量

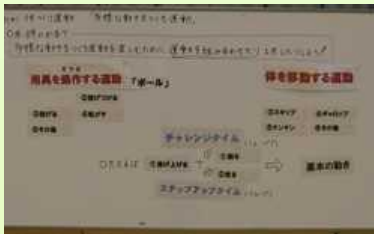
2. 本時の学習課題を確認



ホワイトボードを活用して課題を確認

【学習課題】

基本的な動きをもとに、運動を組み合わせたり工夫したりして、多様な動きをつくる運動を楽しもう。



3. 体を移動する運動と用具(ボール)を操作する運動の動きの組み合わせ方を知り、基本となる動きに挑戦する

手立て①チャレンジタイム
《指導プラン102~104》

図で示したり見本を見せたりして、基本となる動きを確実に理解できるようにした



どんな動きができるかな？

移動やボール操作の動きのポイントを引き出し、確認してから取り組みました。



2人組で同時にボールを投げ上げ、位置を移動してボールをキャッチ



ボールを投げたら、走るかわりにジャンプしよう。
◎難易度を下げる工夫も見られた



どうやって投げれば相手がボールをとれるかな？

4. 組み合わせ方を選んだり工夫したりしながら、新しい組み合わせに挑戦する

4人組で同時にボールを投げ上げ、位置を移動してボールをキャッチすることをもとにいろいろな組み合わせを考える

手立て①ステップアップタイム
《指導プラン102~104》



どのような動きを選んで、組み合わせるといいかな？

手立て②《指導プラン106~107》

グループに入り、組み合わせ方をアドバイス

授業の様子

5. 動きの組み合わせの発表をする



他のグループのよい動きや組み合わせ方などを見付けられるように声をしました。



手立て②《指導プラン106~107》

工夫された動きの組み合わせができた班の発表

6. 本時の学習をふりかえり、まとめる



今日の授業で気付いたことや工夫したことを学習カードに記入



手立て②学習カード《指導プラン106~107》

学習カードには「おうちの人から一言」の欄も

第5時 11月19日(水)	
体づくり運動 「多様な動きをつくる運動」	
名前	
【本時のめあて】 多様な動きをつくる運動を楽しむために、基本的な動きをもとに、運動を組み合わせたり工夫したりしよう!	
【用具の操作(ボール)と「体の移動」を組み合わせる】	
○チャレンジタイム(一人で・ペアで挑戦)	
+ → 今日の基本的動き	
○ステップアップタイム(グループで挑戦)	
【用具の操作】	【体の移動】
① 投げ上げる	② 投げつける
③ 投げる	④ 転がす
⑤ その他	⑥ その他
⑦ その他	⑧ その他
⑨ その他	⑩ その他
・選んだ組み合わせ	
A:()+()	B:()+()
C:()+()	D:()+()
D:()+()	E:()+()
【気付いたことや工夫したこと・感想】	
おうちの人から一言	

＜児童の振り返り例＞

- ・相手に投げるとき、相手がとりやすいように軽く投げる。
- ・転がしたボールをケンケンでとるのはむずかしいので、一回転してからボールをとるように工夫した。

【授業研究会での意見】

＜よかった点＞

- ・意欲が高まる声かけにより、児童の多様な動きを引き出せていた。
- ・「個→ペア→グループ」という学びの形態の変化や「チャレンジタイム→ステップタイム」という活動の流れが一貫していた。
- ・繰り返し挑戦することで、動きの感覚が身に付いていた。



＜改善点＞

- ・ペアでの学習内容がもっと明確にできれば、グループでの活動がさらに丁寧に行えたのではないか。
- ・グループで動きの組み合わせ方を考え、工夫する際、ミニホワイトボードを使うなどして投げる方向や動く方向の確認等ができればよい。
- ・最後に全員でできそうな動きを行い、満足感や達成感を味わわせるとよい。

【参加者の声】

- ・分かりやすく短い発問によって子供の思考が整理されていると感じました。
- ・体づくり運動を実施していく中で、基本的な動きを学習し、そこから発展・工夫させていくことで、子供たちはできる楽しさや喜びを実感していくのかと感じました。
- ・チャレンジタイムとステップアップタイムを設けることにより、子供たちの目的がはっきりして、活動を意欲的に行えると感じました。
- ・活動が学習内容になっていく体育では、いかに一人一人の子供が学ぶことができるのか、そのために具体的な手立てをどうするかが重要であることを改めて感じました。

【授業者の感想】

「伸ばしたい資質・能力」を明確にし、単元や1単位時間の構成を工夫したことで、子供たちは高い意欲をもって取り組み続け、その結果、身に付けた様々な動きを組み合わせ、質を高めていくことができました。他領域でも同様の手立てで実践を重ねていきたいです。

